

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

Nationalism(ナショナリズム)とは、nation(ネイション)への肯定的なこだわりを指し、「国家主義」「国民主義」「民族主義」「国粋主義」などと訳される。現代社会でナショナリズムは、大きな難問といえる。そこで前期は、ナショナリズムについて書かれた新書本をテキストとして、各自が分担して、レジュメ(要約)を作成・報告し、ディスカッションを行う。本書は政治学者である著者が、ナショナリズムについて論じたものであり、ネーションやナショナリズムについて一緒に考えていく。

また、授業ではグループワークの練習も行う予定である。

2. 授業の到達目標

自分の頭で考える能力を身につけることを目標にする。

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加度合い(50%)、学期末レポート(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

植村和秀 『ナショナリズム入門』2014 講談社現代新書

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を事前学習すること。

6. その他履修上の注意事項

欠席しないこと。

授業への参加が前提である。

質問・コメントする等の参加が望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 報告の分担決め |
| 【第3回】 | 報告と討論(1) |
| 【第4回】 | 報告と討論(2) |
| 【第5回】 | 報告と討論(3) |
| 【第6回】 | 報告と討論(4) |
| 【第7回】 | 報告と討論(5) |
| 【第8回】 | 報告と討論(6) |
| 【第9回】 | 報告と討論(7) |
| 【第10回】 | 報告と討論(8) |
| 【第11回】 | 報告と討論(9) |
| 【第12回】 | 報告と討論(10) |
| 【第13回】 | 報告と討論(11) |
| 【第14回】 | 報告と討論(12) |
| 【第15回】 | 授業のまとめ |